

命の木と善悪の知識の木 the tree of life and the tree of the knowledge of good and evil.

神様が天地万物を創造されたとき、

創世記 2 : 9

主なる神は、見るからに好ましく、食べるに良いものをもたらすあらゆる木を地に生えいでさせ、

また園の中央には、**命の木**と**善悪の知識の木**を生えいでさせられた。

(リビング・バイブル)善悪を判断する知恵のつく「良心の木」



命 = この世の命 + 永遠の命

旧約

永遠の命は、命の木の実を食べると与えられた。

→人間が罪を犯した瞬間、神からの約束は破断となり、エデンの園から人間は追放された。



<神の救い>



新約

永遠の命は、イエスを選び、イエスを信じ、従うと与えられる。

<旧約>

▶創世記 2 : 16~17

主なる神は人に命じて言われた。「園のすべての木から取って食べなさい。ただし、善悪の知識の木からは、決して食べてはならない。食べると必ず死んでしまう。」

▶創世記 3 : 6

女が見ると、その木はいかにもおいしそうで、目を引き付け、賢くなるように唆していた。女は実を取って食べ、一緒にいた男にも渡したので、彼も食べた。

▶創世記 3 : 22~23

主なる神は言われた。「人は我々の一人のように、善悪を知る者となった。今は、手を伸ばして命の木からも取って食べ、永遠に生きる者となるおそれがある。」

主なる神は、彼をエデンの園から追い出し、彼に、自分がそこから取られた土を耕させることにされた。こうしてアダムを追放し、命の木に至る道を守るために、エデンの園の東にケルビムと、きらめく剣の炎を置かれた。



イエスのもとに行き、イエスにつながることで、**永遠の(霊的)命**が与えられる (新約)。

命 = この世の命 + 永遠の(霊的)命



<新約>

▶ヨハネによる福音書 14 : 6

イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。」

▶ヨハネによる福音書 6 : 48

わたしは命のパンである。



<新約>

▶ヨハネの黙示録 22 : 2

川は、都の大通りの中央を流れ、その両岸には**命の木**があって、年に十二回実を結び、毎月実をみわたらせる。そして、その木の葉は諸国の民の病を治す。

→新天新地には、もはや「死」も「病」もなく、**永遠の命** (喜びと幸福) がある。

【参考】神様は、なぜエデンの園に「善悪の知識の木」を置かれたのか

▶エデンの園では、どんな木からでも取って食べることができた。ただ、「善悪の知識の木」からは絶対に取って食べてはいけないと神は命じられた。

創世記 2 : 16~17

【新 共 同 訳】主なる神は人に命じて言われた。「園のすべての木から取って食べなさい。ただし、善悪の知識の木からは、決して食べてはならない。食べると必ず死んでしまう。」

【聖書協会共同訳】神である主は、人に命じられた。「園のどの木からでも取って食べなさい。ただ、善悪の知識の木からは、取って食べてはいけない。取って食べると必ず死ぬことになる。」

【リビング・バイブル】ただし、一つだけきびしい注意がありました。「園の果物はどれでも食べてよい。だが、『良心の木』の実だけは絶対に食べてはいけない。それを食べると、正しいことと間違ったこと、良いことと悪いことについて、自分勝手な判断を下すようになるからだ。それを食べたら、あなたは必ず死ぬ。」

【NEW INTERNATIONAL VERSION】 You are free to eat from any tree in the garden; but you must not eat from the tree of the knowledge of good and evil, for when you eat from it you will certainly die.

▶アダムとエバには、人間としての条件、つまり神に従う自由、神に従わない自由を与えられた。神はサタンの誘惑を許し、アダムとエバに選択の自由を与えられた（→愛と服従を試みられた）。

▶神は、アダムとエバが神の命令を守ることによって、善悪の違いを知ることを望まれた。善悪の知識の木から取って食べないことによって、善悪の知識を得るということです。しかし彼らは、その木の実を食べ、自分が罪の一部となることによって善悪の違いを知ったのである。彼らは「善悪の知識の木」から取って食べた瞬間、強烈な罪責感に襲われた。おして、彼らには、恥の感覚が生まれ、自分たちの裸を直視できなくなった。アダムとエバの墮落は、私たちの世界に死をもたらした。

▶アダムの墮落以降、すべての人は原罪を持ち、誕生するようになった。しかし神は、人類を見捨てることなく、救いの道を用意された。それが「イエス・キリスト」であり、彼は「最後のアダム」と呼ばれる。最初のアダムは、神に逆らい墮落し、この世に死をもたらしたが、最後のアダムである、イエス・キリストは、十字架の死に至るまで神に従順でおられ、この世に永遠の命をもたらした。

私たちは、イエス・キリストを信じることによって、罪の赦しと永遠の命を受けることができる。

| | タイトル(書名) | 章:節 聖句 【検索対象総数 : 6 / 聖句等の総数 33250 (永遠の命)6個】 | 聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) 【検索語彙 : 永遠の命】 |
|---|------------|---|--|
| S | ヨハネによる福音書 | 3:16 神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。 | |
| S | ヨハネによる福音書 | 5:24 はっきり言うておく。わたしの言葉を聞いて、わたしをお遣わしになった方を信じる者は、永遠の命を得、また、裁かれることなく、死から命へと移っている。 | |
| S | ヨハネによる福音書 | 6:47 はっきり言うておく。 <u>信じる者は永遠の命を得ている。</u> | |
| S | ヨハネによる福音書 | 17:3 永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリストを知ることです。 | |
| S | ローマの信徒への手紙 | 6:23 罪が支払う報酬は死です。しかし、神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスによる永遠の命なのです。 | |
| S | テトスへの手紙 | 3:7 こうしてわたしたちは、キリストの恵みによって義とされ、希望どおり永遠の命を受け継ぐ者とされたのです。 | |